

考古学教材「縄文人の道具箱」指導案

※対象 小学校高学年から高校生

教材	石鏃3個入り4セット磨製石斧と打製石斧2セット 竪穴住居写真パネル、縄文カレンダーパネル 復原磨製石斧1本、復原土掘り具1本、黒曜石ナイフ10本
ねらい	縄文人の道具を観察して他地域の人々との交流を確認し、平和的な社会を学ぶ Key words: 交流・交易、用材選択、自然利用の知恵

	指導・主眼	教材
縄文人の発明品	縄文人の発明品をみんなで考えよう <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 指導のポイント ・縄文時代の復習の位置づけが効果的・・・学んだことから考える </div>	
竪穴住居	写真パネルを見ながら、竪穴住居について考える <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 指導のポイント ・竪穴住居はどのような材料を使っているか。どのような道具を使ったか。住居の構造から考えよう。 ⇒竪穴はどうやって掘ったか・・・土を掘る道具、なんだろう ⇒柱はどうやって切ったのか・・・木を切る道具、木を縛る道具、柱を立てる道具 </div>	竪穴住居写真パネル
石器にふれる	実際に出土した磨製石斧と打製石斧に触れる 意見を出し合った後、答え合わせ。 →復原石斧を見せて、これなんだ、と。 磨製石斧は木を切る石斧 打製石斧は、スコップのような土掘り具 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 指導のポイント ・どちらか一方が「木を切る道具」もう一方が「土を掘る道具」と教え、実際に触ることでもう一度竪穴住居を作った道具について考える 班別で、再度考え、その考えを述べ合う。 ・石の質によって切りやすい刃ができるもの、作りやすい形が作れるものがある。－石材の選択・・・柄の木も折れにくい木など特別に選択。 </div>	石斧セット 復原石斧 復原土掘り具
石器を見る	弓と矢はどんな目的で使われたか。・・・狩りか？ 戦争か？ → 狩りです どんな動物を仕留めたか意見を出し合う 兎、鹿、猪、鳥、狐、熊・・・縄文人は犬を飼って一緒に狩りをした(犬の墓) 【実物石鏃セットで観察】 石鏃の観察・・・どんな石材があるのかな、同じ石材が多い事を気付かせる ガラスのような石があれば「ナイフのよう」ということも気づかせる 石鏃に適した石があり、どこでも取れるわけではない。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 指導のポイント ・石の質によって切りやすい刃ができるものや、作りやすいものがある。 －石材の選択 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">※黒曜石は自然のナイフ</div> 石鏃セット
体験	黒曜石のナイフで、実際の紙を切ってみる <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 指導のポイント ・自然のナイフは、切れる部分とそうでない部部がある。現代ナイフと </div>	黒曜石ナイフ、カッターマット
まとめ 交易と交流	◎道具は、自分たちで作っていた 材料を調達しなければならない。 <<近くにあればいいけど>> 材料が近くにない ⇒ どうやって手に入れたか考える 材料・道具入手 交易 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 指導のポイント ・近場や遠隔地を問わず、交易することで縄文人の生活が成り立つ 恒常的な人々の交流の証・・・戦争のない暮らし </div>	

※使用に際して、

1 内容的に盛りだくさんなので、「石器にふれる」と「石器をみる」は、どちらか一方でもOK